

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY

なごや ちくさ

題字 黒野清字

名古屋千種ロータリークラブ
 承認 1982年 8月24日
 例会日 火曜日 12:30
 例会場 愛知厚生年金会館
 事務局 TEL763-5110 FAX763-5121
 会長 西川豊長
 幹事 中山信夫
 会報委員長 西尾正巳

築け未来を 行動力と先見の眼で

BUILD THE FUTURE WITH ACTION AND VISION

1996~97年度 RI会長 ルイス・ピセンテ・ジアイ

No. 21

きょうの例会

第692回 平成8年12月3日(火)

講演 “私の仕事” 在田 忠之君
 “ゴルフを楽しむ方法” 林 哲央君

先週の記録

第691回 平成8年11月26日(火) 晴

◇ “我等の生業”

◇ 出席報告

会員 69名 出席 54名
 出席率 78.26%
 前々回 11月12日(修正出席率) 97.10%

◇ ビジター紹介 1名

◇ ニコボックス

秋山 茂則君 地下鉄吹上駅でばったり年寄

が一緒になった西川、菊池、秋山

浅井 誠寿君 楽描展拝見。

短日の 灯の丸善に 小買物

加藤 大豊君 先日は皆様大変御世話になりました。

中根 三郎君 暖かき 11月も 終りけり

佐野 寛君 26回あかね会展に来て下さいます。ありがとうございます。

鈴木 正男君 先日は加藤大豊さん大変ありがとうございました。

山本 眞輔君 麻雀会優勝しました。中日に記事を書かせていただきました。

吉田 敬岳君 11月24日に本堂山門客殿の落慶法要をさせていただきました。クラブから祝電をいただきありがとうございました。当日は小春日和の好日で稚児230人も寒くなくありがたかったです。お近くをお通りの時はお立ち寄り下さい。

木全 昭二君、水野 民也君 楽描会作品展がおかげ様で好評です。

足立 一成君、二村 聡君、石黒 正則君、

釜谷 健一君、河村 政孝君、菊池 昭元君、
 小林 明君、小山 雅弘君、久野 峯一君、
 三輪 康君、三好 親君、水野 宏君、
 西川 豊長君、西野 英樹君、大谷 和雄君、
 鷺谷 龍男君、笹野 義春君、鈴木 理之君、
 田部井良和君、竹内 眞三君、田中 昭二君、
 谷口 優君、舎人 経昭君、津牧 孝臣君、
 魚津 常義君、和田 正敏君、渡辺 辰夫君、
 吉田 節美君 霜月よサヨウナラ、師走コン
 ニチワ、まだ早いけど

◇ 中山幹事報告

1. 本日例会終了後、理事役員会を開催致しますので理事役員の方は芙蓉の間にお残り下さい。
2. 次回例会終了後、年次総会を開催いたしますので全会員お残り下さい。
3. 東京都南RCより例会(火)19:00~20:00高輪プリンスにメークアップされた方は高輪・新高輪・東京・品川プリンスのご協力で、特別料金にてご宿泊ご利用頂けるご案内が来ておりますのでお知らせ致します。
4. 第88回国際ロータリー年次大会がスコットランドのグラスゴーで97年6月15日~18日に開催されます。参加ご希望の方は事務局までお申し出下さい。

◇ 西川会長挨拶

本日は、偶然にも地下鉄吹上のプラットフォームで、菊池さん、秋山さんと私の3人がばったり一緒になりまして、これは今までにない珍しいことだ。そういえば、3人共敬老パスだ、とって笑い合ったのであります。秋山さんは、すかさずニコの名文句にされたわけであります。

私は、はからずも、「高令のひとり暮らし」となって、先日地元学区の「ふれあい給食会」というのにお招きを受け、目のあたり民生委員さんや婦人会の方々のボランティア活動に接する機会を得ました。

実は、去る11月7日守山ロータリー地域共

同隊(守山RCC)認証状伝達式の招待をうけ、中山幹事と私が当クラブを代表して出席いたしました。設立趣旨についてみると、守山RCCはボランティアを活動テーマとするものがあります。守山区は社会福祉施設の好立地条件から、社会福祉施設の数が市内最多の25にも及び、ボランティア活動においても、市内で最も盛んな区であると言われているそうです。

守山RCにおかれましても、すでに27年前からMVC(守山区ボランティアサークル)を支援して、子ども会育成のためのリーダー養成の実を挙げたり、さらに21年前から区内ひとり暮らしの老人給食ボランティアグループの支援を継続し、本年度は給食車の4台目を寄贈することになっているというのであります。

今後守山RCCは、この二つのグループの支援を継続し、守山RCの社会奉仕部門の三大プロジェクトとなるというのであります。

このたびの守山RCCの結成には、16のグループが参加しており、グループとしては、老人給食ボランティア、陶芸クラブ、要約筆記、点訳、手話、おはなしなどのサークルや地域、個人のボランティアなどであります。

ひるがえって、千種区ではどんな状況でしょうか。千種区は千種区なりの色々のグループやサークルもあると思います。今後こつこつと検討を進めていってはどうかと考える次第であります。

◇講演

“最近の原子力情勢”

中部電力(株)広報室部長

岡村 美好氏

(紹介 三好君)



現在、わが国では、“原子力発電”は嫌われもので、増設反対という風潮が流れている。その原因は、二つあり、ひとつは阪神淡路大震災であり、高速道路の倒壊などにより原子力発電所は本当に大丈夫かという不安感、もうひとつは「もんじゅ」のナトリウム漏洩事故による初期の情報提供のまずさによる不信任や安全性に対する疑問である。

原子力発電所を建設する時には、国の耐震設計指針に基づき、過去の地震歴や地質の調査結果をもとに考えられる限りの地震を考慮して、しかも原子炉建屋を強固な岩盤に設置す

るなど、十分地震に耐えるように設計している。地震後、直ちに、この指針に問題ないことの確認が国によりなされた。

「もんじゅ」は、高速増殖炉と呼ばれ、運転しながらウラン燃料のうち燃えないウラン238を燃える燃料のプルトニウムに変えることができる炉で、資源少国のわが国にとっては、必要な炉であると考えられる。その開発過程にある「もんじゅ」は、実用化への通らなければならぬ道であり、よりの確かな情報提供を行い、住民の方々の理解を得て、慎重に進めていく必要がある。

ところで、今なぜ原子力発電を進める必要があるかということについては、

- (1) 日本は、資源少国であり、一次エネルギーの約80%(石油は約100%)を海外依存していること。
- (2) エネルギー資源は、有限(石油は約45年、石炭でも約220年)であり、枯渇すること。しかし、ウラン燃料をプルトニウムに変えることにより、数千年使うことができること。
- (3) 世界の人口は、増加をたどり、2050年には、今の約2倍の100億人になり、特にアジアの人口が増加し、将来のエネルギー確保に不安があること。
- (4) 地球温暖化防止のため、炭酸ガスの排出を1990年レベルに押える必要があり、炭酸ガスの排出の少ない原子力発電が有効であること。
- (5) 省エネルギーや新エネルギー(太陽光・風力等)の採用によるクリーン化も平行して進める必要があるが、これらは、量的に基幹エネルギーにならないこと。
- (6) 現在、日本では51基の原子力発電が稼働しており、日本の電気の約34%を賄っていること。世界では432基の多くの原子力発電が稼働していること。
- (7) 電源は、原子力、石炭をベースにして、天然ガス、石油、水力、新エネルギーのいわゆるベストミックスからなり、資源を分散することにより、資源の安全確保をはかっていること。

このように、原子力発電は、ぜひとも必要な電源であるが、その建設には、申し入れから約15年もかかり、安全を最優先に、一步一步、地元の人はもちろんのこと、国民の皆さんの理解のもとに、原子力発電を進める必要がある。

◇11月度理事会議題

1. 社会奉仕(警察、消防)慰問の件
2. 例会場、保険サービス年末謝礼の件

◇次回例会(12月10日)

愛知県千種警察優良職員表彰

講話 警務課 警部補 山下 正雄氏